

講義名	オ)生活環境論		
担当教員	辻本 乃理子		
開講期・曜日・時限	前期 水曜日 2時限	授業形態	講義
履修開始年次	2年生	単位数	2
主題と概要			
<p>私たちの日々の暮らしや環境は、様々な要因の影響を受けており、私たちを取り巻く環境は急激に変化をしている。本講義においては、日々の暮らしを営むためには生活環境の整備が必要であることを理解し、生活する環境・空間の充実のための基礎的および専門的な知識を習得し、誰もが安心して生活できる生活環境について考察する。</p>			
到達目標			
<p>本講義は対面授業とオンラインの平行開講科目です。各自、自分自身の受講形態を確認した上で受講してください。生活環境・空間の充実のための整備に関する基本と専門的な知識を習得することができる。</p>			
提出課題			
<p>講義中に課す小レポートおよび課題。提出方法は授業内での提出またはRYUKA Portalとしますが、講義中の教員の指示に従うこと。</p>			
課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック			
<p>提出された課題の記述内容の紹介や評価コメントについては、講義中に行う。</p>			
評価の基準			
<p>定期試験70%、講義中に課す小レポートおよび課題30%。 課題点は内容の充実度、分量など総合的に判断し採点する。 講義を妨害する行為がある場合は減点する。</p>			
履修にあたっての注意・助言他			
<ul style="list-style-type: none"> ・受講の内容を基に定期試験、小レポートを課すため毎回出席すること。 ・講義に関係のない私語は、講義に集中したい学生の迷惑になるため厳禁とする。 ・プリントの配布は、講義中にのみ行う。欠席した学生には配布しないので注意すること。 ・授業計画は、進行状況により多少前後、変更する場合がある。 			

教科書				
.使用しない。				
プリント資料及び参考文献				
必要に応じてレジュメ、資料配付。参考文献については講義中に適宜紹介する。				
授業計画				
<ol style="list-style-type: none"> 1. 本講義の概要、オリエンテーション 2. 生活環境の変化について 3. 人の暮らしと環境 4. バリアフリーとユニバーサルデザイン 5. 生活環境とコミュニティ 6. 安心・快適な生活環境 7. 安心・快適な生活環境 8. 安心・快適な生活環境 9. 安心・快適な生活環境 10. 生活内部の環境整備 11. 生活空間の計画 12. 生活空間の計画 13. 生活空間の計画 14. 環境に配慮した生活環境と空間 15. 本講義のまとめ 				
<p>本講義は対面授業とオンラインの平行開講科目です。対面授業受講者が一時的に通学困難となった場合はオンライン授業へ変更することはできません。通学困難となった場合は、別途課題について連絡します。</p>				
授業形態（アクティブ・ラーニング）				
	ア：PBL（課題解決型学習）		イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）	
	ウ：ディスカッション、ディベート		エ：グループワーク	
	オ：プレゼンテーション	<input type="radio"/>	カ：実習、フィールドワーク	
	キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）			
準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間				
<p>予習として、小・中・高校で学んできた生活総合での学びは習得しておくようにすること。また、新聞等で現在の生活に関する人々の意識や行動についての思いや行動を知るようにすること。（30時間） 復習については、各回の講義で配布したレジュメ、資料を用いて各自内容理解に努めること。特に復習には力を注ぐこと。（30時間）</p>				
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連				
<p>人々の生活を科学的に分析し理解することにより、日常生活と文化について、よりよい人間社会を創造することができる。</p>				
双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述				
<p>双方向授業は実施しない</p>				
実務経験の有無及び活用				
備考				
<p>本講義は対面授業とオンラインの平行開講科目です。対面授業受講者が一時的に通学困難となった場合はオンライン授業へ変更することはできません。通学困難となった場合は、別途課題について連絡します。</p>				